

推進分野－１：

社会連帯を通じた平和、人権、社会貢献への取り組みと次世代への継承

志を同じくする仲間の思いと力を、幅広く国民的課題や地域の課題に対して発揮していくとともに、戦争や大規模災害などの実相を風化させず継承していきます。また、社会貢献活動への参加体験を通じ仲間の思いを結集し、運動の力を高めていきます。

1. 支え合い・助け合い運動の推進

- (1) 「ゆにふあん」*6 活動を通じて、労働組合やNPOなどが行っている支え合い・助け合いの活動への参加や支援を促し、社会貢献活動に取り組むとともに、認知度向上に向けても取り組みます。
- (2) 「連合・愛のカンパ」について、支援内容の充実と支援団体のフォローアップ活動のため構成組織、地域協議会との連携強化をはかります。

2. 平和運動の推進

- (1) 「平和行動 in 岡山」を開催し、組合員や県民の平和に対する意識高揚をはかります。
- (2) 在日米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本的見直し、核兵器廃絶と被爆者を対象に国家補償に基づく被爆者支援の実現、北方領土返還と日ロ平和条約の締結について、連合本部、中国ブロック連絡会および関係団体と連携した取り組みを推進します。
- (3) 2021 年に開催予定の核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議に向けて、連合本部方針に基づき、引き続き取り組みます。

3. 人権・連帯活動の強化

- (1) あらゆる差別の撤廃に向けた取り組みを推進するとともに、人権学習会を開催します。
- (2) 就職差別撤廃に向け、連合本部、構成組織等と連携して取り組みます。
- (3) あらゆるハラスメントを根絶するために、連合本部と連携するとともに、組合員が加害者や被害者とならないよう、各種ハラスメントに関する啓発運動を実施します。
- (4) 岡山県中央メーデー、家族ふれあいメーデーは「地域に顔の見える運動」を基本としつつ、新型コロナウイルス感染症との共存を見据えた適切な開催方法などについて議論を進めます。
- (5) 新型コロナウイルス感染拡大の観点から開催できなかった 2020 年度の各地域のメーデーについては、地域協議会で開催する場合「家族ふれあい型」、地域連絡会で開催する場合「集会型」を基本とする開催形態について1年延長し、2021 年度を最終年度としたうえで、次年度以降のメーデーの開催につなげていきます。

4. 自然災害への取り組み強化

- (1) 自然災害発生時に迅速な初動対応ができるよう、日頃から社会福祉協議会、地域・関係団体等と連携します。
- (2) 連合岡山事業継続計画（連合岡山BCP）の運用サイクル（教育・訓練等）を進めます。
- (3) 「連合エコライフ 21」の取り組みを継続し、新たに補強された「環境にやさしい生活－with コロナー」に取り組みます。

*6 「ゆにふあん」・・・構成組織・地方連合会が取り組んでいる社会運動を幅広く発展させ、連合ウェブサイトを設置した「ゆにふあんマップ」に各団体の活動を掲載し、個人の意思で各団体が求める活動の参加や物品、資金の提供ができる支え合い・助け合い運動の取り組みのこと。